【学位論文審査の要旨】

博士論文（英文）“Contribution of Sport Policy to Sport Legacy Development：Case of the Sydney 2000 Olympic Games”（「スポーツレガシー形成へのスポーツ政策の寄与に関する研究 : 2000 年シドニーオリンピック競技大会を事例として」）の審査および最終試験の結果を報告します。

本研究は、2000 年シドニーオリンピック大会を対象に、構成主義的なアプローチを用いてオーストラリアのスポーツ政策のプロセスを質的に分析することによって、スポーツ振興に結び付く長期的なスポーツレガシーを明らかにすることを目的としたものである。さらに、オリンピックレガシー研究が抱える問題解決に向けた示唆を得ることによって、2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会のレガシー計画・政策への貢献および将来のオリンピック開催計画やレガシー研究のあり方について貢献しようとしたものである。これらの研究成果の一部は既に国際誌にも発表されて国際的な評価を受けており、本論文は博士（学術）の学位に十分値するものと判定した。

本学域の学位規定に従い、試験と試問を行った。公開の席で論文内容の発表を行い、学域教員による質疑応答を持って試験とした。また、論文審査員による本論文および関連分野への試問を行った。その結果、質疑応答に対しても試問に対しても十分な回答を提示することができた。したがって、本論文の審査および最終試験に合格と判定した。